

# ATL対策について

# ① 医療体制の整備について

## ○精度の高い検査方法の開発

H23年度に「HTLV-1感染症の診断法の標準化と発症リスクの解明に関する研究班」を設置し、昨年度までの研究に引き続いて、HTLV-1ウイルス量測定法の標準化を図り、さらに診断法の実用化に向けた研究を進めている。

## ○診療体制の整備

- ・「HTLV-1情報サービス」において、HTLV-1、HAM、ATLについての相談・診療対応が可能な機関の情報提供を開始。 ※
- ・「HTLV-1情報サービス」において、ATLに関する臨床研究の参加医療機関データベースを整備し、  
情報提供を開始。 ※

※・・・HTLV-1情報サービスにて閲覧検索が可能

## ○診療ガイドラインの策定

- ・HAMについては、引き続き、「重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発」研究班において「重症度別治療指針」の策定に取り組んでいる。
- ・ATLについては、平成23年度HTLV-1関連疾患研究分野にて、診療ガイドラインの検討班を採択。

# ○HTLV-1関連疾患に対応出来る診療機関・臨床研究機関

◆ HTLV-1キャリアに対応出来る医療機関  
・・・416医療機関

◆ ATL診療が可能な医療機関  
・・・265医療機関

◆ ATL関連の臨床研究参加医療機関数  
・・・17医療機関

◆ HAM診療が可能な医療機関  
・・・223医療機関

※23年2月現在  
※診療科単位で調査している為、医療機関に重複あり

(平成23年度厚生労働科学研究HTLV-1研究班合同委員会 アンケート調査)

## <検索可能な項目>

疾患別検索：  
ATL、HAM、キャリア 等  
地域別検索：  
47都道府県単位  
治療方法：  
化学療法、骨髄移植 等

## ○ 成人T細胞白血病の治療を受ける 患者さん・ご家族へ

### ◆作成:

「成人T細胞白血病のがん幹細胞の同定とそれを標的とした革新的予防・診断・治療法の確立」

研究代表者 渡邊俊樹(東京大学医科学研究所)

### ◆趣旨:

成人T細胞白血病(ATL)の治療を受ける患者とご家族が医師の説明を受ける際、病気・治療等の理解を助けるために作成。

### ◆主な内容:

- ・ATLの原因・症状
- ・ATLの診断・治療法
- ・セカンドオピニオン 等

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/dl/atl.pdf>

成人T細胞白血病の治療を受ける  
患者さん・ご家族へ

患者さんやご家族が納得した治療を  
受けていただくために



平成22年度厚生労働科学研究費補助金/第3次対がん総合戦略研究事業  
「成人T細胞白血病のがん幹細胞の同定とそれを標的とした革新的予防・診断・治療法の確立」

## ② ATLに関する研究

◆平成24年度採択課題は以下の通り

研究事業	研究課題	研究代表	交付額 (千円)	期間
第3次対がん総合戦略研究	ヒトATL及びHBZトランスジェニックATL発症マウスを用いた比較ゲノム解析によるATL発症機構の解析	森下 和広	12,000	平成23～25年度
	ATLの腫瘍化並びに急性転化、病型変化に関連する遺伝子群の探索と病態への関与の研究	加留部 謙之輔	15,000	平成23～25年度
	細胞接着・運動性経路を標的としたATL細胞の浸潤、増殖抑制医薬品開発のための基礎研究	村上 善則	14,000	平成23～25年度
	がん・精巢抗原を標的としたATLに対する新規免疫療法の開発	石田 高司	14,000	平成23～25年度
	miRNAを用いたATLがん幹細胞特異的新規治療法の開発	渡邊 俊樹	26,000	平成24～25年度
がん臨床研究	成人T細胞性白血病(ATL)の根治を目指した細胞療法確立およびそのHTLV-1抑制メカニズムの解明に関する研究	鵜池 直邦	40,000	平成22～24年度
	成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロン $\alpha$ とジドブジン併用療法の有用性の検証	塚崎 邦弘	40,500	平成22～24年度
	HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進	内丸 薫	16,500	平成23～25年度
	ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究	渡邊 俊樹	20,500	平成23～25年度
	ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	塚崎 邦弘	20,500	平成23～25年度